

夏の味覚を一足早く

全国トップクラスのイチジク産地JAあいち中央管内で

ハウスイチジク収穫本格化！

【4月中旬／安城市内で収穫風景を紹介します】

JAあいち中央いちじく部会（部会長：竹内直人）では、4月下旬からハウスイチジクの収穫が本格化します。愛知県のイチジク収穫量は全国トップクラス。中でもJAあいち中央管内は愛知県内一の産地です。

部会では、本来、夏の味覚であるイチジクをハウスで加温して栽培することで、春からイチジクを味わうことができ、ハウス栽培と露地栽培を組み合わせることで、長期間にわたる出荷を可能にしています。この時期のイチジクは、主に贈答品用に使われ、関東を中心に中京・北陸地方に出荷している他、JA農産物ネット販売サイトでの販売を行っています。

JAあいち中央いちじく部会

- 部会員：145人（うち、ハウス栽培は17人）
- 栽培面積：25ha（うち、ハウス栽培は2.7ha）
- 出荷量：約350t（うち、ハウス栽培は約62.5t）
- 収穫期間：ハウス栽培は4月上旬から8月中旬
（露地栽培は8月上旬から11月上旬）

<今年の生育状況>

生育期間に病害虫などの被害もなく、味も見た目も高品質のイチジクの出荷が期待されます。



《メディア対応日》

- 日時：2023年4月中旬
- 場所：未定

※当日は、生産者のハウスに移動（車で約5分）し、イチジクを収穫する様子をご紹介します。

※イチジクに触れると、かぶれることがありますので、取材の際には長袖でお越しください。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL:0566-73-5504／携帯:080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp